

「生物多様性」に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
自然環境室	2011年02月02日から 2011年02月16日まで	1356	837	61%

三重県環境森林部です。

三重県では、現在、COP10等国内外で生物多様性に関心が高まる中、県内の生物多様性の保全と持続的な利用を目的に生物多様性地域戦略（基本計画）を策定中です。この地域戦略の策定に際して、「生物多様性」に関するご意見をe-モニターの皆さんからお聞かせいただきたくアンケートを実施します。

アンケート募集期間は、2月2日～2月14日です。

■ Q1 「生物多様性」という言葉の認知度

「生物多様性」という言葉を知っていますか。

合計	837	
内容をよく知っている	77	9.2%
内容をある程度知っている	346	41.3%
言葉は聞いたことがある	329	39.3%
全く知らない	85	10.2%

■ Q2 情報源

※ Q1で「全く知らない」と答えた方はQ6へお進みください。

「生物多様性」について、どこから情報を得られましたか。

合計	752	
テレビ	417	55.5%
ラジオ	23	3.1%
新聞	188	25.0%
書籍	17	2.3%
インターネット	49	6.5%
官公庁の広報紙	10	1.3%
ポスターやチラシ、掲示板など	10	1.3%
講演、シンポジウムなど	21	2.8%
その他	17	2.3%

■ Q3 問題意識

生物多様性が身近な問題であると思いますか。

合計	752	
身近な問題だと思う	253	33.6%
ある程度身近な問題だと思う	361	48.0%
あまり身近な問題だと思わない	69	9.2%
身近な問題だと思わない	6	0.8%
わからない	63	8.4%

■ Q4 原因

生物多様性を損失させる原因として、あなたが最も大きいと考える原因をお答えください。

合計	752	
生息生育地域の破壊や改変	453	60.2%
気候変動	77	10.2%
侵略的外来種	95	12.6%
過度の資源利用	56	7.4%
汚染（窒素、リン）	19	2.5%
その他	7	0.9%
わからない	45	6.0%

■ Q5 施策

生物多様性の保全と持続可能な利用に関する対策について、あなたが重要だと考える対策を4つ以内でお答えください。

合計	752	
地球温暖化の防止（温室効果ガスの排出削減）	414	55.1%
外来種による影響の防止（駆除など）	465	61.8%
山林や草地の手入れ	244	32.4%
漁業資源、木材資源など生物資源の乱獲防止	331	44.0%
絶滅の恐れのある野生生物の人工飼育や繁殖	138	18.4%
動植物種の生息生育地の開発防止	334	44.4%
生態系に関する研究の推進	159	21.1%
遺伝子組み換え生物の取引の制限	84	11.2%
有機農業の推進	57	7.6%
里山の利用と管理	220	29.3%
企業による生物多様性に配慮した製品の開発	78	10.4%

生物資源の利用（医薬品の開発など）による利益の公平な配分	41	5.5%
特に何もせず、自然に任せる	17	2.3%
その他	8	1.1%
特にない	0	0.0%
わからない	36	4.8%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture